

川崎正美さん(68歳)の生活



川崎正美さんは会報に3回目のご登場です。1回目は平成24年の1月号で、「地元中小企業との出会い」2回目は同年7月号で、「スマートフォン大研究」

その川崎さんが八王子市の仕事を辞めて昨秋から新たな歩みをされていると聞き、12月14日にお話をお聞きすることにしました。

お会いした場所の紹介

川崎さんとお会いした場所を先ずご紹介します。

「コワーキングスペース八王子 8beat」

URLは <http://8beat.tokyo/>

場所は東京都八王子市三崎町4-11 トーネンビル5Fにあります。ここはユーロード沿い、ドンキホーテ(旧長崎屋)の正面のビルです。1階にカラオケ ビックエコーが入っています。



2014年11月1日11時11分(覚えやすい!)にオープンしましたから元旦でちょうど2ヶ月の新しい店です。ホームページでの紹介は「八王子駅徒歩4分!電源・WiFi・フリードリンクで2時間500円の作業スペース」とあります。少し詳しく言えば、予約無しで1日利用しても1000円、2時間で500円。月額会員は9800円。

パソコンを持ち込んでの作業環境は整っています。

スキャナーも2台あり、無料で使えます。フリードリンクも充実していますし、有料のドリンクもあります。

プロジェクター・スクリーンもありますから少人数のセミナーも開けます。広いスペースで仕切りがありませんから話し声がうるさい時もありますが、何ともスマートなスペースです。北向きの窓際も開放感があり、仕事がはかどりそう。

そんなスペースで川崎さんは待っておられた。

実はそんなスペース設立に共感して月額会員契約第1号になられました。川崎さんの作業環境としては使いやすく、事務所を借りるより遙かに安いと言っておられます。



川崎さんの市役所での仕事は

八王子市役所産業振興部企業支援課の所属でその出先機関のJR八王子駅前のTCビルにある八王子先端技術センター開発・交流プラザというところが勤務先でした。市の試験を受けて平成21年(2009年)4月に就職しました。企業誘致、経営改善や技術課題の指導・相談を担当する技術相談員でした。

最初の1年は週3日の嘱託で勤務時間も短かったけど市の制度が変わり任期付き職員(2年任期)になり、平成26年9月まで務めました。

きついのはコアタイムが朝10時から19時までで職員は同期の男性と女性事務員だけ。一応地方公務員で市役所職員並の扱いでした。

女性事務員は10時から17時までを2人の交代勤務。17時以降は男性が残っていないといけないのでこれのやりくりが結構大変でした。

仕事はもらうのか、作るのか

あのビルの机に座っていても月に数件相談があるだけです。サポートしてくれる先輩もいないし、慣れない人には飛び込み的ユーザー訪問ができないです。たまたま嘱託の時期、市役所に同様な経験を10年積んだ職員の方がおり、最初の3~4回は同行してくれたり、少しだけ面倒を見てくれました。

現場に行き、目と足で確かめて技術的なこと、助成金の紹介とか技術以外を含めて最善のアドバイスをしますが、それができるまで4~5年はかかるとその方に言われました。

最初1年間は色々アドバイスも頂きましたが、2年目からは殆ど1人での行動となりました。複数回訪問を含めて**5年半で企業に約900回訪問しました。**

初対面の企業には近々国からこんな助成金が出ますとか、魅力のある情報を電話で話し、アポを取って訪問したりしました。親しくおつきあいが始まると逆にこんな加工ができる会社を紹介して欲しいとか相談を受けることが増えてきました。

怖くなく対応できる技術分野も増えて、判ることのアドバイスをし、判らないときの他社紹介などが出来るようになったのは2年後位でしたかね。光学的な事では後輩を引っ張り出したこともありました。

それと1,2ヶ月に1回セミナーを開きました。テーマ選び、講師選び、パンフレット作り、宣伝、人集め、資料作り、当日の運営、懇親会の手配等を殆ど1人でやりました。何時も頭にあるのは**地元中小企業に役立つタイムリーな企画は何か**でした。

たとえば

- 災害時の事業継続は大丈夫ですか？
- 電気自動車の今後と展望
- 「超小型人工衛星」への挑戦！（八王子市）

メインの講師選びが成功したら、地元の関連するものづくり中小企業に折衝して事例報告的なお話をしてもらおう。だいたいそんな2面作戦でセミナーをやりました。

市役所からは年間計画を出して欲しいと言われたけど、できないですよ。一世クラブの会報だってそうでしょう？



川崎流仕事の流儀

市役所の職員の人たちは企業との応対では接待のようなことは受けられない。経産省の人なんかは会議をやってもペットボトルに手を付けない徹底ぶりです。

私は企業との信頼関係を築き本音を聞き出す事が大事と考え、割り勘で酒席もおつきあいしました。

そのうちには新会社の開所式に来賓で招待されたこともありました。

この様な仕事をする上で大事にしたことは上から目線になってはいけないということ。私はこの仕事関係での資格は何も持っていませんが、常に中小企業の社長さんと一緒に課題解決する気持ちが重要と思っています。この仕事はひょっとしたら純粋に技術屋だけで終わった人には難しいと思います。

退職の前後

市役所への退職届けは後の人の手当も考慮し3ヶ月前に届けました。仕事の性格上、事務の引き継ぎは特にやらず、9月末、産業振興部の方々から送別会をして頂き、円満退職となりました。でもかけがえのない60代でこの仕事に就けて自分にぴったりだったと思っています。翌日は完全に二日酔い。

今やっていること

自分がやりたいことを好きなやり方でゆっくりやってみたいと思って辞めたんですが、今までおつきあいしてきた方々から色々相談があるんですね。ボランティアで相談にのっていますが、この3ヶ月ゆっくり休めた日はまだ3日しかない。

今、産学共同の大きなプロジェクトに参加をしています。日本はロボットの先進国ですが、ロボットが社会に受け容れられるかの接点が未知のところがあり、大学側のリーダーがその社会実験をやろうと言う事で動いています。あるロボットを東北の被災地仮設

住宅に持ち込み、本当のニーズは何かを観察したり話しあったりして探っているのも活動の一つです。

3月までにまとめた他の仕事も相談されましたが、お断りして今はこのテーマに集中しています。

やりたい仕事があれば会社を興してまでやるべきでしょうが、そこまでの決断はこの歳になってはできないですね。

12月初め、市内の懇意になったある社長さんから一席設けますからとお誘いがあった、行ってみると5人の社長さんが揃っていて、びっくりしました。実は私に対するご苦労さん会だったんですね。最後に花束まで頂きました。光栄の至りでした。

川崎さんのお話をお聞きして、まだまだこれから話題がありそうです。それはまたの機会に。それとこのスペース!! 皆様の会合で使って、夜の街に消えるのに是非ご利用ください。支援しましょう。



寄稿

新春企画 今年こそ

今年こそは秋バラを美しく咲かせたい!!

土方 和男

四季咲き性のバラは春から夏にかけて3回、秋に1回咲くのが一般的である。春の一番バラは休眠期の冬に施した元肥効果や植物の活発な活動により殆どのバラが咲き乱れる。モダンローズと呼ばれるハイブリットティ、フロリバンダ、モダンシュラブなどの多くは四季咲き性の特徴を有する。

各バラは一番花の花数が最も多く花径も大きい。2番花、3番花と咲き進むにつれて花数も花径も減っていく。



ここ数年秋バラが思う様に咲いてくれない(花数が少なく花形も綺麗でない)。夏の元肥や夏剪定は適期に充分できて思われるのだが。

原因を推定すると

- *夏の暑さ負けによる根の弱り
- *8月に黒星病発生による落葉
- *鉢バラは施肥量が少ない?
- *地植えは多肥でEC値が高い?(未測定)。
- *土壌が悪く団粒構造でなく固結化している。

来年こそは

ゆっくりしたい気持ちはあるけど、何にもしないですいたら、心身共にあつという間に年とって行くのではという気がして、何かをやっていたい。昨日も朝4時起きで5時に家をでて千葉県集合場所に行き、福島県で一仕事をして、5時に帰路につき、帰宅したのは11時ですよ。この歳にして。

でも八王子市で活躍されているお年寄りの方も多くて、私なんかまだまだ青二才です。

10月になって何をやるにもと個人事業主の届けは出しました。付随して青色申告の勉強もはじめています。その勉強もこのコワーキングスペース八王子8 beat でやっています。井上さんもお出でよ。

*pH値が7.0と高い。

*日当たりや風通しが十分でない。

等が挙げられるが検証が必要である。来年はこれらの要因を丁寧にクリアーし、秋には達成感のある栽培をしていきたい。

すでに昨年の12月には土壌改良として堆肥とピートモスを合わせて200Lを敷き込み、鉢バラには自家製の培養土に元肥も混ぜ込んで鉢替えを済ませている(一般的には培養土は赤玉土をベースに堆肥と腐葉土をだけを混ぜ込む)。

手入れの主なものは剪定、害虫の防除や病気予防のための薬剤散布、元肥は年2回・追肥は3月から11月毎月一回、強風時の枝の保護等です。

地植えバラ100本と鉢バラ80鉢の手入れを一年かけて楽しんでいくつもりです。



ラ・マリエ